

## 保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 4月 30日

アンケート期間:令和 5年 3月 1日～令和 5年 3月 31日

事業所名 S.I.C.KIDS東海校

保護者等数(児童数)11名 回収数 11枚 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	10	1				少しでもスペースが活用できるよう工夫しております。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	9	2				適切に人員配置しております。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	9	1			1	見通しポケットや空間を区切り障害特性に応じた配慮に心がけています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	11					
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	11					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	9				1 無回答1件	ガイドラインに沿ってご本人支援やご家族支援を行っております。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	11					
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	11					
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	2	1	4	4		他児童との交流は考えていません。
保護者 への 説明等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	11					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	11					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	6	1	2	2		面談などで積極的に支援を行います。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	11					
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	9	2				定期的に面談を行っております。
15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	2	1	5	3		イベントなどで交流を考えたいです。	

	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	9	2				こちらから面談のお声がけやいつでも相談の受け入れが出来る旨お伝えしています。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	11					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	8			2	無回答1件	インスタグラムや公式LINE等のSNSで発信しております。ワムネットで自己評価を公表しております。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	10				無回答1件	
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	9		1		無回答1件	防災訓練はLINEや事業者内に案内を掲示しております。防犯マニュアルなど一部説明が不足している部分に関しては周知していきます。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	8		1	1	無回答1件	定期的に必要な訓練は行っております。
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	10				無回答1件	
	23	事業所の支援に満足しているか	9	1			入れる日数が増えると嬉しいです。 無回答1件	ご家族の希望を伺いながら職員配置など工夫できればと考えております。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

## 事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 4月 15日

公表: 令和 5年 4月 30日

事業所名 S.I.C.KIDS東海校

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		運動療育と学習の時間を分けたりしてスペースの確保をしている。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	事業所が2階にあることも要因の一つとして、バリアフリーの配慮が適切ではない。	現在の建物の状態では、バリアフリー化は難しいと考えております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃、アルコール消毒などこまめに行っている。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	業務改善を進めているが、PDCAサイクルが、まだきちんと確立できていない。	きちんと計画を立てて業務改善を進めます。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様のご意見を参考に少しずつ改善を進めている。事業所のホームページで公開している。	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		結果を活かして改善を進めていく。事業所のホームページで公開している。	
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行っていない。	今後も外部評価を行う予定はありません。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に内部で研修を行ったり外部研修に参加している。	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○		モニタリングや職員間で情報を共有して計画作成を行っている。	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		チェックシートを活用している。	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○		計画に沿った支援は行われているが、知識や経験が足りない部分もあるので、まだ改善の余地がある。	
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	個別対応なので、情報の共有は行っているがチームでの立案は行っていない。	毎週火曜日の全体ミーティングで、困難事例やプログラムについて検討しています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ご利用者様の成長に合わせて支援プログラムの変更を行っている。	
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している		○		個別支援を通して集団適応していけるよう支援しております。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝ミーティングを行っている。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	その都度気づいたところなど記録を残しているが、時間の関係上、十分に共有出来ていない時もある。毎週火曜日に全体ミーティングを行い全員の意見のすり合わせをしている。	毎週火曜日に全職員参加で会議を行い、日々の支援のすり合わせを行います。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録に残して、次回の支援に活かしている。	
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		様子が変わった際は、少し早めにモニタリングを行っている。	

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている		○	連携を図っているが、まだ不十分な面もある。	今後も継続して連携を図りながら、関係機関と連携した支援を行えるようにします。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			対象児童なし	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			対象児童なし	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○	移行支援はまだきちんと確立できていない。	相互理解が図れるよう連携していきます。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている		○		移行支援はまだきちんと確立できていない。就学される児童の保護者との面談を行ってから必要な情報共有を行います。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている		○	助言や研修などまだ十分に受けていない。	積極的に研修に参加していきます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○	障がいのないお子様と交流する機会がない。	他児童との交流を想定していません。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		極力参加するようにしている。	
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		支援終了後、保護者にその日行った支援など伝えている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレントトレーニング等)の支援を行っている		○	家族支援プログラムの支援に関しては行えていない。	面談等で支援を行っていきます。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		保護者にきちんと説明を行っている。	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○		保護者に支援内容等説明しながら同意を得ている。今後も継続して計画を作成していく。	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		○	定期的ではないが、ご家族にご要望があれば面談を行っている。	定期的に面談が行えるよう保護者との連絡を密にします。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○	保護者同士の連携の支援は行えていない。	イベントなどで保護者同士の連携を支援していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○		相談があれば、迅速に対応している。また、事業所側からも面談の声掛けなど行っている。	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		インスタグラムや公式LINE等のSNSで発信しております。	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	○		取り扱いには注意している。	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		支援終了後の支援の説明や面談を通して行っている。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○	地域に開かれた行事は開催できていない。	ボランティアの導入を検討しています。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○	防災訓練等必要な訓練は行っている。防災訓練に関して事前に書面とLINEを使用して告知している。	緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルなど一部周知が不十分なものに関しては周知していきます。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○	必要な訓練は行っている。しかし、備品などまだ改善の余地がある。	必要に応じて備品を購入します。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○	事前に保護者から情報を聴取している。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○	事業所内で食べ物の提供を行っていないため、医師の指示書に基づく対応はされていない。	対象児童がいないため対応しておりません。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○	ヒヤリは共有できているが、まだ件数が上がっていないため、見逃しがないように多様な視点で見っていく必要がある。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○	研修は行っているが、今後ブラッシュアップしていく必要がある。	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○	対象児童がいないため記載していない。	対象児童に見逃しがいないか身体拘束適正化委員会で検討を行っていきます。

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

## 保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表:令和 5年 4月 30日

アンケート期間:令和 5年 3月 1日～令和 5年 3月 31日

事業所名S.I.C.KIDS 東海校

保護者等数(児童数) 45名 回収数 34名 割合 75%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	26	6	1	1	スペース利用を工夫されていると思いますもう少し広がったら少しだけ思います。欲を言えばもっと広いスペースで活動出来るが良い。	ご意見ありがとうございます。今後もスペースの工夫を行っていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	29	4		1	固定されていますが、変更する時に希望日に入れるようにして欲しい。	なるべくご期待に副えるよう調整を行っていきます。
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	12	8	5	8	無回答1件	事業所が2階にあるためバリアフリー化が難しい状態にあります。
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画※ i が作成されているか	31	2	0	1		面談を実施してニーズの聞き取りを行い、職員会議で分析など実施しております。
	5 活動プログラム※ ii が固定化しないよう工夫されているか	30	2	0	2	その都度対応して頂き、子どもも理解度が高まっています。	ありがとうございます。今後も継続してプログラムを工夫していきます。
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	6	16	11		マンツーマン支援のため、他児童との交流は考えておりません。
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	32	2	0	0		支援後ご説明しております。
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	33	1	0	0	定期的に子どもの状況を伝えてくれ、日々成長を感じています。	ありがとうございます。今後もそのような思っていただけよう努力します。
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	5	0	1		面談を通して助言等行わせて頂いております。
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	5	14	14		イベントなどで保護者の交流を考えたい。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	23	1	0	10		苦情が上がった場合は、迅速に対応させて頂いております。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	2	0	3		日頃から支援時や保護者様に支援内容をお伝えしている際に配慮しております。
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	18	5	1	10		Instagramや公式LINE等のSNSで発信しております。
14 個人情報に十分注意しているか	28	2	0	4		鍵付きの戸棚に入れる等、個人情報の取り扱いには注意しております。	
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	28	4	0	2		防災訓練はLINEや事業者内に案内を掲示しております。防犯マニュアルなど一部説明が不足している部分に関しては周知していきます。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	29	1	1	3		定期的に必要な訓練を実施しております。

満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	31	3	0	0	楽しく勉強ができています。毎週通えるのは楽しい証拠です。ありがとうございます。学習の時はどうしても眠くなりがちですが、上手に支援して頂いて感謝しています。	ご意見ありがとうございます。今後もお子様が楽しみに思ってもらえるよう支援を行います。
	18	事業所の支援に満足しているか	33	1	0	0	こどもの活動中に親が待てる場所があると助かります。	限られたスペースのため、ご不便をおかけしております。

※ i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

※ ii 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 5年 4月 15日

公表: 令和 5年 4月 30日

事業所名 S.I.C.KIDS東海校

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標	
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○	事業所が2階にあることも要因の一つとして、バリアフリーの配慮が適切ではない。	現在の建物の状態では、バリアフリー化は難しいと考えております。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している		○	業務改善を進めているが、PDCAサイクルが、まだきちんと確立できていない。	きちんと計画を立てて業務改善を進めます。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者様のご意見を参考に少しずつ改善を進めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		結果を活かして改善を進めていく。事業所のホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	第三者による外部評価は行っていない。	今後も外部評価を行う予定はありません。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		定期的に内部で研修を行ったり、外部研修に参加している。	
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		モニタリングや職員間で情報を共有して計画作成を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		チェックシートを活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている		○	個別対応なので、情報の共有は行っているがチームでの立案は行っていない。	毎週火曜日の全体ミーティングで、困難事例やプログラムについて検討しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		ご利用者様の成長に合わせて支援プログラムの変更を行っている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している		○	学習の進み具合、運動での様子をしながら課題を設定しているが、平日等に分けての設定は行っていない。	平日や休日など関係なく連続した流れの中で課題の設定を行っています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している		○		個別支援を通して集団適応していけるよう支援しております。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎朝ミーティングを行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	その都度気づいたところなど記録を残しているが、時間の関係上、十分に共有出来ない時もある。	毎週火曜日に全職員参加で会議を行い、日々の支援のすり合わせを行います。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		記録に残して、次回の支援に活かしている。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		様子が変わった際は、少し早めにモニタリングを行っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	○				

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○	気になる児童に関しては、こちらから積極的に連絡をとっている。		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている			対象児童なし	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○	相談支援事業所とは連携が取れているが、保育所等との連携に関しては、まだ確立できていない。	共有が必要な児童に関しては、積極的に行っていきます。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○	移行支援はまだきちんと確立できていない。	対象児童がいないため、まだ確立出来ていません。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○	助言や研修などまだ十分に受けていない。	研修があれば積極的に参加していきます。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○	障がいのないお子様と交流する機会がない。	他児童との交流は想定していません。	
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○	極力参加するようにしている。		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○	支援終了後、保護者にその日行った支援など伝えている。		
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○	面談などで、適宜支援を行っている。		
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○	契約の際、説明を行っているが、今後分かりやすさも意識しておく。		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○	定期的ではないが、ご家族にご要望があれば面談を行う。	支援の説明などで、保護者から悩みなどヒヤリングしています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○	保護者同士の連携の支援は行っていない。	イベントなどを開催して連携の支援を行っていききたい。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○	苦情が出た場合は、迅速に対応できるよう心がけているが、顧客満足につながるよう対応できるような改善していく。		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○	インスタグラムや公式LINE等のSNSで発信しております。		
	35	個人情報に十分注意している	○	取り扱いには注意している。		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○	支援終了後の支援の説明や面談を通して行っている。		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○	地域に開かれた行事は開催できていない。	ボランティアの導入を検討しています。	

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○	防災訓練等必要な訓練は行っている。防災訓練に関して事前に書面とLINEを使用して告知している。	緊急時対応マニュアルや防犯マニュアルなど一部周知が不十分なものに関しては周知していきます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		必要な訓練は行っている。しかし、備品などまだ改善の余地がある。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		研修は行っているが、今後ブラッシュアップしていく必要がある。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		切迫性、非代替性、一時性に当てはまるか確認し、個別支援計画にうたって、保護者にも説明を行っている。	ご本人が落ち着ける環境を身体拘束適正化委員会で検討しています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	事業所内で食べ物の提供を行っていないため、医師の指示書に基づく対応はされていない。	対象児童がいないため、対応しておりません。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリは共有できているが、まだ件数が上がっていないため、見逃しがないように多様な視点で見ていく必要がある。	